

公共事業再評価調査

担当部課名	県土整備部 都市計画課	電話番号	0 1 7 - 7 3 4 - 9 6 8 4
		E - MAIL	toshikei @ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (1 0 年)	再評価後 (年)	その他 ()
---------	-----	----------------	------------	---------

1 事業概要

事業種別	都市公園事業	事業主体	県	市町村	その他 ()					
事業名	都市公園事業	地区名等	新青森県総合運動公園	市町村名	青森市					
事業方法	国庫補助	県単独	財源・負担区分	国 1/3、1/2	県 2/3、1/2	市町村	%	その他	%	
採択年度	平成 8 年度 (用地着手 平成 年度 / 工事着手 平成 年度)									
終了予定年度	平成 30 年度 (平成 年 月 工期変更 当初計画時 平成 年度)									
事業目的	<p>現青森県総合運動公園の施設の老朽化等に対応すべく、運動施設の拡張事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施したところ、三内丸山遺跡が国内最大級の縄文遺跡であることが判明したことから、県はこれを保存することとし、新たな総合運動公園を青森市東部郊外に移転整備することに決定した。</p> <p>国際的・全国的競技の開催可能なスポーツ施設を備えるとともに、高齢者はもちろん、様々なハンディキャップを持った人々も含めた県民各層が、日常生活の中で利用できる健康福祉の拠点となる総合運動公園を整備する。</p>									
主要内容	区 分		当初計画時	再評価時	増 減					
	公園面積		86 ha	86 ha	0 ha					
	運動施設工		8 施設	8 施設	0 施設					
事業内容については当初計画時と変更ない。										
事業費	当初計画時総事業費 61,598 百万円 (単位：百万円)									
		~ 14年度	15年度	16年度	17年度	小 計	18年度~	合 計		
	計 画	30,295	894	445	2,019	33,653	27,945	61,598		
	(うち用地費)	(4,975)	(19)	(19)	(19)	(5,032)	(809)	(5,841)		
年 月変更										
実 績	30,492	857	483	669	32,501	29,097	61,598			
(うち用地費)	(4,975)	(19)	(19)	(19)	(5,032)	(809)	(5,841)			

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況			計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	事業費割合		52.8 % [/]	96.6 % [/]
	(うち用地費)		(86.1 %) [/]	(100 %) [/]
	主要工種	公園供用率 (86ha)	(面積割合) 82.4 %	(面積割合) 100 %
毎割合	運動施設工 (42,848百万円)	39.5 %	90.9 %	
(事業費)	他公園整備工 (12,909百万円)	81.8 %	100 %	
説 明	財政改革プランの推進期間 (H16 ~ H20) において、大規模運動施設の新規着工は見合わせることにしているため、その期間においては、さくら広場、多目的広場 (兼調整池) や親水性修景施設の「流れ」など、憩い、楽しめる空間整備を進め、スポーツ環境の向上を図るとともに震災時の避難地や防災拠点等に供するオープンスペースを重点的に確保することとしている。			
問題点・解決見込み	事業実施に当たった際の阻害要因はなく、概ね順調に進捗している。			
事業効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年1月に総合体育館「青い森アリーナ」等を含む27.9haを部分開園し、同年2月には第5回アジア冬季競技大会の開閉会式の会場として利用された。 県レベルのスポーツ大会をはじめコンサートや展示会場など、多様な利用に供されており、平成15年度の利用者数は約434,300人となっている。 			

(2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	<p>【全国の評価】</p> <p>緑とオープンスペースに係る政策課題 地球温暖化の防止、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全 災害に脆弱な都市構造の改善、震災時の避難地・避難路の確保 地域の歴史的・文化的・自然的資産の活用による観光振興等地域の活性化 レクリエーション活動、健康活動、文化活動等の拠点の形成</p>	<p>【県内の評価】</p> <p>「青森県広域緑地計画」（平成10年6月策定）では、都市公園の整備水準を平成20年で16㎡/人、平成30年で20㎡/人を目標としている。</p>	
	当地区における評価	<p>・本県における平成15年度末現在の都市公園の整備状況は、13.7㎡/人で目標整備水準を下回っている。</p> <p>・青森市では地域防災計画の平成18年度見直し時に、広域避難地（概ね10ha以上の公園）として位置付ける予定。</p>		
必要性	<p>・老朽化が進む現運動公園の代替施設の整備は、県民を対象としたスポーツの環境づくりを推進するため、広域的見地から県が行うものである。</p> <p>・平成7年度に新運動公園の適地の検討を行い、地理（アクセスビリティ等）、地勢（地形、十分な面積の確保等）などに優れている青森市東部の宮田地区に移転を決定した。</p> <p>・競技力向上を図るためには、県レベルのスポーツ大会はもとより、国際的・全国的競技の観戦機会を享受できる施設整備が必要である。</p>			(a) . b
適時性	<p>現運動公園の運動施設は築後約40年を経過し、老朽化が進行しているため、運動施設の老朽度、スポーツ需要等総合的に検討し、順次整備していかなければならない状況にある。</p>			(a) . b
地元の推進体制等	<p>・地権者で構成する「新青森県総合運動公園建設等対策協議会」の協力の下、円滑な用地買収及び整備が行われている。</p> <p>・地元自治体より「新青森県総合運動公園の建設促進について」の要望が継続して出されている。</p>			(a) . b
効率性				

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	当初計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)建設費	百万円	59,296 百万円	59,296 百万円
	(2)維持管理費	百万円	9,050 百万円	9,050 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	- 百万円	68,346 百万円	68,346 百万円
便益項目 (B)	(1)利用価値	百万円	43,501 百万円	43,501 百万円
	(2)環境価値	百万円	13,960 百万円	13,960 百万円
	(3)防災価値	百万円	16,372 百万円	16,372 百万円
	(4)残存価値	百万円	473 百万円	473 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	- 百万円	74,306 百万円	74,306 百万円
B / C			1.09	
<p>【費用対効果分析手法】(分析手法、根拠マニュアル等)</p> <p>「改訂 大規模公園費用対効果分析手法マニュアル」（平成16年2月（財）日本公園緑地協会発行、国土交通省都市・地域整備局公園緑地課監修）</p> <p>【費用対効果分析における特記事項】</p> <p>事業採択時においては「マニュアル」がなかったため、費用対効果分析を行っていない。</p>				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園路及び駐車場の舗装に再生アスファルト合材を使用。 ・園路及び駐車場の路盤や構造物の基礎砕石に再生砕石を使用。 	(a) ・ b
代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> <p>現在ある総合運動公園での運動施設拡張事業を中止して、三内丸山遺跡の保存・活用に転換したものであり、県下においてそれに代わる、広域的利用に供される大規模な運動公園がないため、当該場所に機能移転したものである。</p>	(a) ・ b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	<p>【住民ニーズの把握方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館内にアンケート箱を常設 ・要望（「県政・わたしの提案」等） 	<p>【住民ニーズ・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内50m公認プールの早期整備、東北でないのは青森県だけだ。 ・青い森アリーナ周辺のスポーツ施設の早期整備、特に、全国大会等が開ける陸上競技場を早く造ってほしい。 ・利用価値の高い陸上競技場をドーム化して通年使えるようにしてほしい。 	(a) ・ b		
環境影響への配慮	<p>【地域別環境配慮指針への対応】</p> <table border="1"> <tr> <td>地域区分</td> <td>A1i</td> </tr> </table> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>(2)対応内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園全体にわたり、植樹、芝を配置し緑地保全に配慮する。 ・公園内に調整池を配置し、外部への水害対策を講じている。 	地域区分	A1i	<p>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</p> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>(2)対応内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「緑の森の中での新たなスポーツ体験ステージ」を基本テーマに計画しており、周辺の森と調和した緑の配置や水生動植物の保全、水辺景観に配慮しながら連続性を持った「流れ」を公園中心部に配置している。 ・現況地形を極力生かした、造成、施設配置としている。 	(a) ・ b
地域区分	A1i				
地域の立地特性					

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続 計画変更 中止 休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	スポーツに関するニーズの多様化とともに高齢化社会の進展など、県民のスポーツ・健康に対する意識の高揚に対応するため、引き続き整備拡充に取り組む必要がある。
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり 対応方針(案)を修正すべき
委員会評価	継続 計画変更 中止 休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見	意見書のとおり
評価理由	